

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



岡山県原水協通信

2010年2月8日 No115
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

内外の注目を集める原水協運動

全国に広がる署名の教訓を交流 日本原水協 全国総会

日本原水協の第82回全国理事会（総会）が2月6～7日、東京で開かれました。総会には46都道府県、15中央団体、個人理事等120名が参加しました。

日本被団協の小西次長は原水協の支援に謝辞をのべ、「オバマ発言は『先付け小切手』のようなもの。不渡りにならないよう活動しなければならない。被爆者は核兵器の存在におびえ、日本の政治のあり方に不安をもっている。日本を変えなければアメリカも変わらない」と挨拶されました。

報告にたった高草木事務局長は、「核兵器完全廃絶」の約束実行が問われる5月のNPT再検討会議を前に日本原水協の活動に内外から強い期待が寄せられていること、オバマ発言以降の情勢の変化、日本政府が被爆国の政府でありながら日米同盟と「抑止論」へ固執している問題点を指摘しました。しかし、核兵器廃絶の本流は引き続き前進しておりそれを推し進めているのが日本の核兵器廃絶の運動であることを強調されました。

2日間で47名が発言しましたが討論の中心は「核兵器のない世界を」署名の運動の教訓でした。

市長等の協力で自治体ぐるみの運動に広げている教訓、町内会やさまざまな団体との共同で署名がすすめ



日本原水協代82回全国理事会（総会）2/6 東京

れていることなどが生き生きと報告されました。岡山からは笠岡の運動の取り組みを報告しました。

高草木事務局長は「署名とは自分の意思を現すこと。署名は人を変え、地域を変え、日本を変え、世界を変えるものということが討論を通じて明らかになった」とまとめ報告で述べました。

2010年平和行進中央実行委結成

7月16日～26日 岡山県内行進

2月6日、2010年国民平和行進中央実行委員会の結成総会と都道府県代表者会議が開かれました。会では09年の総括、会計報告が承認され、10年の実施要綱と予算が承認されました。

行進は09年と同じ全国11コース。5月6日東京夢の島を出発する東京 広島コースの岡山県入りは7月16日の予定で、同時期に行われる参議院選挙を闘いながらの行進になります。



2009年全国通し行進者のあいさつ 2月6日・東京

笠岡 2日間3ヶ所で906筆 岡山駅前でも26人参加で宣伝

笠岡 笠岡の会は2月6日と7日の2日間「核兵器廃絶署名」の街頭行動を行いました。6日のマルナカ前には11人が参加、1時間で235筆。7日の大仙院の祭事では民商、医協の5人が参加し140筆。市民会館で行われた生涯学習フェスティバルでは龍谷高校の生徒と先生を含め9人が参加し531筆を集約しました。

岡山 2月6日、午後1時～岡山駅前でも26人が参加、NPT参加者がマイクで訴え、PPOのメンバーの元気な呼びかけでにぎやかな宣伝になりました。署名は79筆集まりました。



岡山駅前での宣伝行動のあとの記念撮影(2/6)